



イスラエル：国会選挙、世論調査では「シオニスト・ユニオン」が第1党に

3月17日の国会選挙まで1週間を切った。最近の複数の世論調査の結果では、「シオニスト・ユニオン」（労働党・ハトゥヌアの統一名簿）が第1党に、リクードは第2党になる見込みである。今回の選挙には26の政党が参加するが、議席を獲得できる政党は11政党にとどまる。11政党の内、20議席台を獲得できると予想されるのは2党（「シオニスト・ユニオン」、リクード）で、10議席台が4党、一桁台が5党になる。

最近の世論調査結果

	2013年選挙* (2)	5日	10日	12日
政党名				
リクード	31	22	21	21
イスラエルベイテヌ		5	6	4
「ユダヤの家」	11	12	13	11
クラヌ(新党)		8	8	11
極右・右派計*(1)	42			47
イェーシュ・アテイド	19	13	12	12
「シオニスト・ユニオン」	21	24	25	24
メレッツ	6	6	5	6
中道・左派計*(1)	46			42
シヤス	11	7	7	7
ヤハッド(シヤスから分離)		4	4	5
統一トラー・ジュダイズム	7	6	6	6
宗教政党計*(1)	18			18
アラブ政党連合	12	13	13	13

**2013年選挙の議席数にはカディマ2議席が含まれない。

評価

第1党の座をめぐり「シオニスト・ユニオン」とリクードが争っているが、現時点では「シオニスト・ユニオン」が24~25議席で第1党になる公算が高い。しかし組閣のためには過半数の61議席を確保するための議席の積み上げが必要になる。左派・中道そして右派・極右政党の議席数はそれぞれ45議席前後になるため、宗教政党をどう取り込むかが組閣の焦点になる。この点では、第2党になっても右派リクードのほうが有利である。通例では、アラブの政党の議席は連立与党に入らないが、今回アラブ政党連合は第3党に躍進する公算が高く、同党

の扱いも別の焦点になる。

選挙後、リブリン大統領が各党の党首との協議を経て、内閣を組閣できる可能性が高い党の党首に対して首班指名を行なう。そのため第1党の党首が必ずしも首班指名を受けるとは限らない。「シオニスト・ユニオン」（中道左派）は、イエーシュ・アティド（中道）がリクード（右派）を支持することを牽制するため、「イエーシュ・アティドへ投票することはネタニヤフ支持になる」と主張した。そのため11日、イエーシュ・アティドのラピッド党首は、大統領との協議の際、ネタニヤフ首相を首班指名することはないと明言している。

リブリン大統領は、リクードの議員だったが、ネタニヤフ党首との仲はかなり悪いといわれている。ネタニヤフ党首は、リブリンが大統領候補になることを最後の最後まで反対した。その理由の一つは大統領が持つ首班指名の権限である。ネタニヤフ首相は、再び首相に就任した場合、大統領の首班指名権限をなくし、第1党の党首が自動的に首班指名を受けるように法律を改正すると発言している。他方、リブリン大統領は、リクードと「シオニスト・ユニオン」による大連立構想を持っており、2大政党が安定内閣を作り、選挙法の改正を行なうことを期待しているとも報道されている。

世論調査を実施している機関の担当者らは、従来の手法で行なう世論調査が、若い世代の考え方を反映しているかどうか読みきれていないと報道されている。2013年の選挙では、中産階級の生活改善を掲げたイエーシュ・アティドの躍進を世論調査は予想できなかった。次回選挙では、支持政党を決めていない有権者も多いといわれており、浮動票の動き次第では、世論調査と異なる結果になる可能性がある。

世論調査では、有権者は経済問題を最重要視するといわれる。安全保障問題重視ではなく、物価高や貧富の格差是への対応を重視した有権者の投票行動は、過去に例がなく、想定外の動きが出るかもしれない。

（中島主席研究員）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

◎各種情報、お問い合わせは中東調査会 HP をご覧下さい。URL : <http://www.meij.or.jp/>